

理解推進事業

参加型イベントで盛り上がり！ 美術展とスポーツ大会 今年も開催

障がい者が参加する、長い歴史をもつ多摩市主催のイベント2つが、今年もこれから開催される。

第26回多摩市障がい者美術作品展は11月27日(日)から12月4日(日)までパルテノン多摩で開催。

第21回多摩市ふれあいスポーツ大会は、来年3月4日(土)に多摩市立総合体育館で開かれる。

興味のある方は、ぜひ参加を。



☉ 絵画や手工芸、木工など毎年500点以上の力作が並ぶ障がい者美術作品展

資源化センター事業

リサイクルは環境づくりの第一歩 日々の作業で地域に貢献

9月の作業実績は14日間でおよそ70時間。総選別量は前月とほぼ同じ約94トンだった。年末にかけ飲食の機会が増え、処理量も増える見込み。体調管理に努め、引続き作業に取り組みたい。

移動支援事業

ショッピングやダンス教室などの近隣から ちょっとした遠出までいろいろ使える

9月は映画やカラオケ、買い物などで計50件の利用があった。聖蹟桜ヶ丘や永山駅周辺で開催されたイベントなど近場への同行のほか、東京都庁の展望室やバス新宿などの遠出利用もあった。

加盟団体紹介

アートひまわり
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階 ☎373-8455

NPO 法人あしたや共働企画
多摩市諏訪 5-6-3-101 ☎372-3690

NPO 法人暉望(色えんぴつの家・グループ TOMO)
多摩市永山 3-9 ☎372-3382

NPO 法人くぬぎ
多摩市永山 3-9 ☎375-2583

NPO 法人どんぐりパン
多摩市諏訪 5-6-3-105 ☎371-9236
サンクラブ多摩
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階 ☎356-0308

多摩市視覚障害者福祉協会
多摩市聖ヶ丘 1-28-26-103 ☎372-8051

NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会

多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター3階 ☎338-7009

多摩市手をつなぐ親の会
多摩市落川 1234-2 ☎371-8809

多摩市聴覚障害者協会
多摩市聖ヶ丘 1-19-5-201 FAX 372-0939

4 ※の一まの『HOT ほっと』は2014年9月号、本部で発行してございました『多障協だより』は2014年1月発行の冬号をもって最終号とさせていただきます、2014年9月より2つを統合し『月刊relier』としてリニューアル発行させていただきます。法人ともども今後ともよろしくお願いいたします

障害年金についての勉強会

10月6日(木)に支援センターの一まと就労支援センターでは、駒木野病院サービスステーション駒木野室長の山口氏を講師に招き『障害年金の基礎知識&ガイドラインについて』をテーマに職員研修を行なった。

障害年金制度の概要に始まり、6月1日に改正された『障害認定基準』の障害の状態による程度基準の解説、9月1日から実地された『精神障害に係る等級判定ガイドライン』の等級判定方式により、決定までの過程が明確化し判定に対して透明性が確保されたこと等、新制度に対して理解を深める貴重な機会となった。



☉ 資料で使用した『障害認定基準』『精神障害に係る等級判定ガイドライン』は厚労省のHPからダウンロード可能

今月の花

～ポインセチア～

日本には、明治時代中期に渡来してきたポインセチアの起源は古く、原産地のメキシコではアステカ文明の頃から朱色の染料として長く用いられてきた。クリスマスの花として定着し始めた由来として、欧米のキリスト教文化として血の色に似たものを飾る習慣や、星の形に似ている事が挙げられている。

ポインセチアは赤の他に白、ピンクなどがあり、ピンクは2009年に日本の企業によって作り出された。

花言葉は下記のようにクリスマスを感じさせる言葉が多く挙げられている。



☉ 12月25日の誕生日花。花言葉は「祝福」「聖なる願い」
☉ 赤い部分は花ではなく中心にある緑の部分の黄色い粒が花



多摩市障害者福祉協会



つながりを力に、人と人を結ぶ
月刊多障協通信 ルリエ



発行：多摩市障害者福祉協会
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階
障害者団体共用室

☎042-356-0308 FAX042-311-2327

ホームページ <http://tashokyo.com>

多障協だより
路傍の草木も色づく
深まる秋の号

2016年10月25日発行
2016年第3巻第10号通巻26号

relier 11月号

目次

事業報告

東京都盲人福祉大会多摩大会が パルテノン多摩で開催	1
支援センターの一ま	2
障がい者就労支援センター	3
移動支援事業	4
資源化センター事業	4
加盟団体紹介	4
障害年金についての勉強会	4
今月の花	4

連載

NEWS	1
今月のひとこと	1
プログラムカレンダー	2
今月のひとこと解説	3

東京都盲人福祉大会多摩大会が パルテノン多摩で開催

10月19日に多摩市視覚障がい者福祉協会結成26周年記念、第48回東京都盲人福祉大会多摩大会がパルテノン多摩で行なわれ、各支部の当事者や関係機関などから800名を超える参加があった。白杖を使い一人で参加する方や、ヘルパー・盲導犬を使い参加する方がいた。設備面で平成30年に施設改修工事を予定するパルテノン多摩では、トイレまでの動線や高低差が大きく階段の多いホールでの移動を不安視する声が多数寄せられた。

8月15日に東京メトロ銀座線青山一丁目駅で起きた盲導犬使用男性のホーム転落事故死を受け『ホームからの転落防止は「大丈夫ですか」の一声から』とスローガンを掲げた。

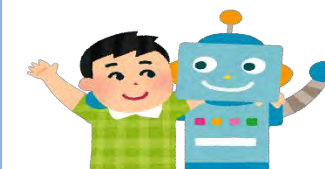
視覚障がい者が地域生活する上で安全の確保は必要不可欠だ。今大会のスローガンや決議が、共生社会の実現に向け大きな一歩となる事を願う。

NEWS～市民に広がる防災運動の輪

8月22日に関東を直撃した台風9号の影響を受け、多摩市では初めてとなる避難勧告が大栗川と乞田川が合流する関戸3丁目と連光寺1丁目1番地に発令。多摩市役所防災安全課による、防災行政無線やメールなどの呼び掛けに対し、緊急避難先となった連光寺小学校と多摩市総合体育館には90名を超える避難者が集まった。

10月1日には多摩市総合防災訓練が市立鶴牧中学校で開催され、避難所の設営や宿泊体験などが行われた。小中学生や近隣の住民が参加し、防災に対する危機感と意識の高さが見られた。

今月のひとこと



ロボット技術など最先端のテクノロジーを駆使した補装具を装着し、その技術を競う国際大会『サイバロン』がスイスで初開催された。強化義足レース、脳の信号を伝達して動作に変える脳波コントロールレース、電気刺激レースなどで、技術と人が力を合わせ競い合う。身に着ける「補装具」の技術も勝敗を左右する。様々な研究が身体だけでなく障がい者のこれから、すべての人々のこれからを大きく変えていくのでは…と可能性に期待が膨らむ。

※『relier』は「つながり」や「結びつき」を表すフランス語。人と人、地域と地域をつなげることで真の共生をめざしたいという意味を込め、リニューアルした広報誌にこの名前をつけました

お楽しみ会

12月24日(土)に『の一まお楽しみ会』を開催します。
 ・時間:13時30分から15時30分まで
 ・場所:の一ま(第四会議室)
 ・参加申し込み期間:11月19日(土)から12月17日(土)まで。
 ・参加費:100円
 当日は、プレゼント交換を行いますので300円以上500円以内のプレゼントをお持ちください。
 詳細はポスター、または職員まで。

SST(固定第2グループ)

前回告知した、SST(身体・知的)グループは予定を変更し『SST 固定第2グループ』として、11月・12月・2月・3月の第1水曜日に開催します。
 3障害対象になるので参加を希望される方は、担当までご相談下さい。
 ※6月からの固定グループ(精神)に参加されていた方は対象外です。

9月相談件数

内容	相談件数
電話	93件
面接	91件
訪問	4件
同行	8件
連絡調整	21件
フリースペース(延べ)	275名
プログラム参加(延べ)	115名
新規登録者	2名
今年度登録者	162名

第二四半期報告

内容	件数
プログラム参加(延べ)	341名
プログラム参加(実人数)	65名
フリースペース(延べ)	754名
フリースペース(実人数)	126名
第二四半期新規登録者	11名

お知らせ

今月の映画会

12日(土)は『猫なんか呼んでもこない』を上映します。
 プロボクサーとして芽が出ず空虚な日々を送っていたミツオ。犬派だった彼は、ふとしたことから兄が拾った2匹の猫たちの面倒を見ることに。夢破れて沈みがちなミツオと彼の気持ちなどお構いなしにマイペースで生活する猫たちとの暮らしが始まる。



プログラムの変更と中止

23日(水)のリラックス体操は、祝日の為中止になります。
 25日(金)のイブニングタイムは中止になります。

●実績報告●

第2四半期&9月の実績報告

第2四半期(7月~9月)の相談件数は802件で、前年同期比約30%減。職場開拓や実習等の日常生活支援は減少したが、職場定着支援の件数が23%増と大幅に増加した。これは、登録者の87.5%を占める162人が一般企業に勤めており、職場訪問や面談の機会が増えていることによる。また、現在の登録者数は185人、過年度からの継続就労者数128人と、ともに前年同期より5人増となっている。
 なお、9月の相談件数は238件で前年同月比21%減。新規就労者は1名。国立職業リハビリセンターで1年間の訓練を受けた後、事務職に採用された。



●今月のひと口解説●
 ビジネスマナー編 vol.11
 注意を受けた時の態度

仕事を間違えたときや時間に遅れてしまったとき、思わぬところで失敗して上司から注意されたり怒られたりすることがあります。そんなときは真面目に注意を聞き、素直に謝りましょう。
 ①注意する人に対して体の正面を向けます。注意の言葉は最後まで聞き、きちんと返事をします。
 ②怒られていることを不満に思ったり腹が立つこともありますがどうして注意されているのか冷静に考えることが大切です。
 ③注意を受けた後「申し訳ありません」「これからは気を付けます」など、最後に謝罪の言葉を伝えます。

☞同じ注意を何度も受けられないように、後で注意されたことをメモに取っておき、時々確認するとよいでしょう



使い方しだいで危ない場面も! スマホの上手な使い方

9月17日は、普段から特別支援学校などで通信機器の使い方やトラブル回避について講義をされているNTTドコモスマホ・ケータイ安全教室の鈴木友望さんに来てもらい、携帯電話やインターネットにまつわるトラブルと、加害者や被害者にならないための方法を学んだ。15名が参加したが、ほとんどがスマホを所有。その大半がLINEやツイッターなどSNSを利用しており、オークションやショッピングなど金銭のやり取りに関連した使い方をしている。
 SNSなど情報のやり取りで気を付けたいのは、相手が誰で、どんな人間かもわからないこと。若い女性だと思って実際に会うと、悪意を持ったグループから金品を脅し取られるといった被害も出ている。無料ページやゲームで遊ぶうち、意識しないまま有料アイテムを購入していたり高額な通信料を請求されるといったケースもある。アニメや動画を交えた講義中の質問に、参加者は積極的に手を挙げ、答えていた。買い物や各種機器の操作など、使い方が広がりますます多機能になる通信機器だが、使い方を誤ると思わぬ事件の当事者になることがある。実践的で有意義な回となった。

保有率5割超え!!最近のスマホ事情

総務省が7月22日に発表した平成27年通信利用動向調査によると、スマートフォン(スマホ)を保有する個人の割合が前年の44.7%から53.1%に増加し初めて5割を超えた。またインターネット接続の際に利用する機器別でも、20代の91.3%はスマホ経由でパソコンの73.3%を大きく上回っている。50代以上でパソコン優位の傾向が見られるものの、おしなべて、ネット接続はスマホでという傾向にあり、近い将来すべての世代でパソコンよりスマホとなりそうな勢いだ。

さて、情報検索やメール、映像や音楽などの利用が多かったインターネットだが、LINEやブログ、インスタグラムなどソーシャルネットワーキングサービス(SNS)の利用者も全体で5割にもう少し、20代では7割強、30代でも6割強、40代でも5割を超える人が利用している。電車に乗ると、周りのみんなが全員スマホを覗き込み、やたらと指を動かしているが、新聞や文庫派は今や少数派だ。

銀行に行かなくても振込が出来たり、電車に乗れたり、エアコンやテレビを外から動かしたり、ドアを開けたり、目的地まで案内してくれたり、ますます便利になるスマホ。思わぬ落とし穴があったりするので上手に使うことが求められる。



日	月	火	水	木	金	土
		1 お楽しみ会 14:00~15:30	2 SST(固定第2) 14:00~15:30	3 文化の日 休み	4 イブニングタイム 17:45~19:30	5 利用者ミーティング 14:00~15:00
6 休み	7 休み	8	9 リラックス体操 14:00~15:00	10	11 イブニングタイム 17:45~19:30	12 映画会 『猫なんか呼んでもこない』 13:30~15:30
13 休み	14 休み	15	16 スタッフ会議 10:00~12:00 SST(自由参加) 14:00~15:30	17	18 イブニングタイム 17:45~19:30	19
20 休み	21 休み	22	23 勤労感謝の日 休み	24	25 イブニングタイム はお休みです	26 コーラス 14:00~15:30
27 休み	28 休み	29	30			